同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和３年 ９月６日

**同志社大学フォーミュラプロジェクト**
**８月活動報告**

秋暑の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFP）の ８月の活動についてご報告させていただきます。現在、当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、記録会や来年度の大会でより高い成績を獲得するための車両を作り上げるべく、設計製作を行っております。そして、多大なる御支援していただいております企業の皆様、先生方、OB の皆様方に深く感謝いたします。今後とも宜しくお願い申し上げます。

図 1. 今年度車両での自動車練習場走行の様子



Doshisha Univ.
D.U.F.P.
Formula Project since 2002

## 1. 活動報告

### 自動車練習場・泉大津フェニックスでの走行

8 月 10 日(火)に自動車練習場で、8 月 13 日(金)に泉大津フェニックスで走行を行いました。今年度大会の現地での車検/動的審査は中止となりましたが、開催予定の記録会や来年度大会に向けてのデータ収集のため走行いたしました。13 日は午後から暴風雨だったため、オートクロス・エンデュランスを想定したコースの走行は叶いませんでした。しかしアクセラレーションやスキッドパッドのデータは無事取得でき、COVID-19 の蔓延による活動制限が厳しい中、21 プロジェクトとして最大限の走行を行うことができたと考えております。

図 2. 泉大津フェニックスでの走行の様子

### プレゼンテーション審査

8 月 25 日(水)にプレゼンテーション審査の発表を行いました。今年度のプレゼン審査は 19 年度からレギュレーションが変更され、前大会で発表した事業を参考として新しい事業を発表するという形となりました。そのため、前大会での事業を分析し、前事業の問題点を改善していると考えた事業をテーマとして発表しました。また、発表の最後には、プレゼンテーション審査についての質疑応答ができたため、プレゼンを作る上での疑問点についても伺うことができました。今回のプレゼン審査で得た情報を踏まえ、来年度の審査に活かしていく所存です。

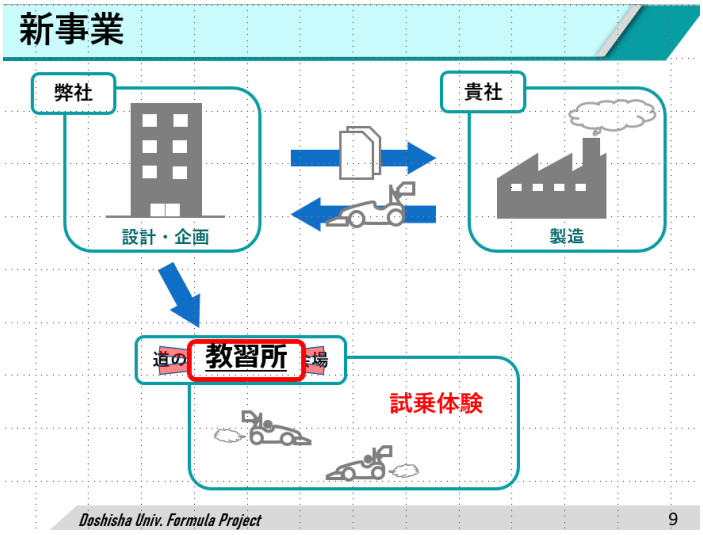

図 3. 使用したプレゼンテーションの一部

**デザイン審査**

8 月 26 日(木)にデザイン審査の発表を行いました。デザイン審査は事前に提出した設計資料と車両をもとに、どのような技術を採用し、どのような工夫をしているか、またその採用した技術が市場性のある妥当なものかを評価されます。どの班も、コロナ禍で活動が制限される中、実際に試験走行を重ねることが難しかったため実測が不足しているという反省点が如実であったため、指摘していただいた項目も含め来年度設計に活かしてまいります。

**コスト審査**

8 月 31 日(火)にコスト審査の発表を行いました。当日の内容は 6 月に提出したコストレポートと 8 月に提出した車両やその部品を撮影したコストフォトの整合性に関する質疑応答、およびフィードバックと大会運営側から与えられる車両の生産時に発生する問題への対応策をプレゼンするリアルケースシナリオに分かれており、どちらも部品やシステムの製造プロセスに対する理解度が問われるものでした。コストレポートのフィードバックでは概ね高評価でしたが一部改善点の指摘があったため、来年度の更なる完成度の向上へと生かしてまいります。

図 4. デザイン、コストフォト撮影の様子

## 2. スポンサー様

同志社大学 機械系学科
教職員・非常勤講師の皆様
DUFP OB・OG会の皆様

## ３．今後の活動予定

| | |
|---|---|
| 9 月 8 日 | 引き継ぎ会 |
| 9 月 15 日 | 大会結果報告会 |

## ４．最後に

今年度は現地での車検/動的審査が中止となってしまったため、8 月 31 日のコスト審査をもって大会は終了となりました。今年度は COVID-19 の蔓延に伴い活動に厳しい制限がかかり、活動時間・活動人数の短縮や試走の制限など車両を製作する上で多くの障害がありました。しかし、多くのスポンサー様や OB・OG の方々から多大なるご助力をいただき、無事に活動を行うことができました。ご多忙な中、一年間弊チームをご支援・ご協力してくださり、誠にありがとうございました。大会報告書は後日改めて送付させていただきます。

今後は記録会にむけて活動を行った後、最後の引き継ぎを行い 22 プロジェクトに移行していく予定です。昨年度・今年度ともに大会の現地開催が行われていないため、22 プロジェクトのメンバーは全員現地での大会に参加したことがないという状況になりますが、今年度我々が OB・OG の方々に大きく支えていただいたように、来年度のプロジェクトは我々21 プロジェクトのメンバーが精一杯支えていく所存です。22 プロジェクトでも良い車両を製作するため、鋭意努力してまいりますので、今後とも御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

---

**同志社大学フォーミュラプロジェクト（DUFP）**
**2021 年度プロジェクト総務　　多田　淑貴**

**〒610－0394**
**京都府京田辺市多々羅都谷 1－3 同志社大学**
**URL：http://dufp.racing**
**E-mail：cgud4090@mail4.doshisha.ac.jp**

---